

ところ会 10 月 OP 行事

新河岸から鶴瀬を歩く(シリーズ-2)

日時:平成 29 年 10 月 26 日(木) 快晴

集合場所・時間:西武新宿線本川越駅 8 時 35 分

参加人員:13 名

見学場所:

新河岸駅出発(9:00)⇒河岸跡(舟運遺構)⇒九十川合流点⇒白山神社⇒ふじみ野市立福岡河岸記念館⇒昼食(11:00~12:00)⇒権現山古墳群⇒大杉神社⇒伊佐島河岸⇒砂川樋管⇒蛇木河岸⇒ららぽーと富士見(ティータイム)⇒バスで鶴瀬駅(仮解散)⇒ふじみ野駅⇒川越市駅⇒徒歩⇒本川越駅 15:50 頃(解散)

今回は晴天に恵まれ、先週の終日の雨の下野のバス旅行とは違って気分も大いに盛り上がっての出発となりました。出発時に竹本さんを置いてけぼりにするというミスで予定より遅れてのスタートとなりました。新河岸川の整備された堤防を長期間歩いたので、景色が単調で疲れの原因となりましたが、参加された皆さんは健脚で昼食処にも時間通りに着く事が出来ました。今回のメインである福岡河岸記念館は改修中で展示物の半分程度しか見学が出来ず、又権現山古墳群では的確な説明が出来ず、参加された皆様へは不満感を与えたことを考えると、今後の見学全体の計画立案が難しいと思いながらこの報告書を作成しています。コースの最後に幸運にもららぽーと富士見がありティータイムで一休みして、帰途について事はグッドアイデアだったと思っております。今回は史跡を巡り歩くことというよりは、新河岸川の整備された堤防を歩く単純なハイキングになったことを反省することしきりです。

居田記

参加者のコメント

久しぶりに一日中気持の良い晴天に恵まれました。

冠雪の富士を背(そびら)に土手歩き 季語=冠雪

ずっと以前、砂川堀がどこに行くのか小手指から歩いて行ったことがあります。その時はふじみ野駅の近くで暗渠になって砂川堀を見失ってしまいました。その砂川堀があんなに勢い良く新河岸川に合流しているとは思っても見ませんでした。今ならグーグルマップがあるので、もう一度チャレンジして新河岸川まで行って見たいと思います。

まずは良く歩いたというのが、第一のコメントです。ただ、新河岸川の土手は柔らかい土でふわふわとして、歩きやすい道でした。最初に見学した回漕問屋福田屋は明治中期の建物が大事に保存されていて、説明して下さった方が、その昔は「番頭さん？」なんて、想像してしまうほど控えめながら、誇らしげに語ってくれたのが印象的でした。

久しぶりの秋晴れの日で心地よい歩きを楽しみました。台風 21 号の爪痕が残る河川を目のあたりにして、台風の怖さも感じながら歩きました。舟問屋「福田屋」の構えに往時の賑わいを想像して興味深いものでしたし、調度品には懐かしさを感じるものもありました。今回も きょういく、きょうよう・・・(今日行く、今日用事)の一日でした。



福岡河岸記念館前で



左:伊佐島河岸を臨む、右:ららぽーと富士見前にて

今回も無事に終了しました。今回は先にも記述しましたが何となく単調なやや長いコースとなりお疲れ様でした。

居田